

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲お星さまに届け、みんなの願い

短冊に願いを込めて
ベビークイズクラブ開講



▲上手にできたよ、見て見て！

短冊には「足が速くなれますように」「家族みんなが元気でいられますように」など、素敵な願い事がいっぱい。その思いを込めて、立派な飾り付けが完成しました。

すべての願いが叶い、交流を通じて実り多い1年になるといいですね。

今年度の「ベビークイズクラブ」が、7月4日(土)に笠懸公民館で開講しました。同クラブは、同じ世代の子どもを持つ親同士との交流とつながりを深めることを目的としています。

開講式では割田館長が「30年前から続く事業で、当時参加していた子どもが今は親になるほど長い歴史があります」と挨拶。講師の根岸恵美子さんも「1年間、楽しく活動したい」と抱負を語りました。



▲夢がいっぱい七夕飾り

より良い文化祭へ 実行委員会始動

笠懸地域文化祭第1回実行委員会が6月23日(火)に笠懸公民館で開催されました。冒頭、割田館長から「昨年の反省点を踏まえ、より良い文化祭になるよう皆さん協力してください」と挨拶がありました。

今年度の参加申し込みは、展示部門23、ステージ部門37、イベント部門22の合計82団体。昨年度から引き続



▲参加から参画へ、実行委が始動

きメインテーマ『参加から参画そして新しい仲間づくりへ』、サブテーマ『つながれ！地域のWA』とすることを確認。文化活動を通じて、地域住民の交流を深め、世代を超えた繋がりを広めることを目指します。

今年の文化祭は10月24日(土)・25日(日)の2日間。市民による日頃の文化活動の成果発表の場として、多くの来場者で賑わうことが期待されます。

文化祭に向けた役員体制は次のとおり。

◇役員体制 (敬称略)

実行委員長 金子 和夫

副実行委員長 各部部长

展示部会

部長 片山 芳彦

副部长 青木 田鶴

副部长 粕山 千絵

ステージ部会

部長 上田 芳弘

副部长 森 三枝子

副部长 川崎 彩乃

イベント部会

部長 高松 富雄

副部长 須藤ますみ

副部长 武井 澄江

掃除後は 会話弾む



笠懸公民館で恒例の大掃除が、6月14日(日)に行われ、多くの利用者が参加しました。

参加者は約280人で、協力し合って清掃に取り組み、隅々まで丁寧に磨き上げられました。

久しぶりに顔を合わせる知人と挨拶を交わす姿も見られ、温かな交流の場となりました。



▲清掃後、喉を潤す至福の時

りました。今年は、米国からホームステイで来ている男女2人も参加。日本の共同作業の光景に驚きながらも、笑顔で作業に加わっていました。

清掃後は、利用者の会から冷たい麦茶やアイスコーヒーが振る舞われ、参加者同士の会話が弾みました。

この大掃除は、単なる清掃活動だけでなく、地域交流を育む行事として定着しています。

骨子決定

学びと体験全4回

第3回市民講座運営委員会(松栄準治委員長)が6月11日(木)に開催されました。今年度のテーマ「みどり市20歳の再発見」健やかな体豊かな土、愛すべき郷土を次世代へ」に沿い、全4回の講座について協議。大まかな内容や日程の方向性を確認しました。

講座3回、視察研修(バスツアー)1回の計4回を



▲館内で楽しいおしゃべり

予定。講座の1回と視察研修は土・日曜日に、残りの講座2回は平日の夜に開催する予定です。

視察研修では、浅原体験村での蕎麦打ち体験や岩宿博物館の見学など、市内の施設を巡ります。

具体的な時期や内容は次の委員会最終決定。今年度も、多くの人に楽しみながら学んでもらえるよう、同委員会では準備を進めています。



伝統と歓喜、公民館に集う

6月21日(日)、笠懸公民館では、1階で笠懸地域郷土芸能祭、2階でW杯観戦会が同時に開催され、館内は多世代が集う熱いエネルギーに包まれました。

熱狂を共有 ロビーで観戦会

笠懸公民館2階ロビーを会場に同館主催の「サッカーW杯日本代表戦ロビー放映会」が実施されました。

当日は、普段1階に設置

されている37インチテレビを2階へ移動。さらにホワイトボードに「応援メッセージ」や「勝敗予想」の参加型コーナーも設け、手作りの観戦会場が整えられました。

会場には市内外から延べ約50人が観戦。10代以下の若年層が半数を超え、掲示板に熱い

エールを寄せる高校生らの姿が見られるなど、館内は終始歓声に包まれました。

▲熱いエールを寄せる高校生

試合後のアンケートでは「自宅で一人で見るとより楽しい」との声が多く寄せられ、満足度は7割を突破。1階の伝統文化と2階のスポーツ熱が共鳴し、多世



▲多世代が集い、声援送る

代が思い思いに集う「地域の居場所」としての公民館の可能性に、今後も期待が高まります。

盛大に開催 郷土芸能祭

笠懸地域文化協会主催、市教委後援による「第25回みどり市笠懸地域郷土芸能祭」が、6月19日(金)から21日(日)の3日間にわたり開催されました。

笠懸公民館1階ギャラリー・ロビーでの作品展示には16団体が参加。写真、盆栽、書道など多彩な力作が並び、日曜には恒例の呈茶

温泉で
いこいのひと時



みどり市の新たな観光拠点となる温泉施設「Y S湯くトピアみどモスパ」が5月24日(日)、鹿田山の麓にオープンしました。豊かな自然に囲まれた同施設では、入り口に設置された市マスコットキャラクター「みどモス」の像が来場者を迎えます。

目玉の一つは、無料で

利用できる足湯です。湯温は40℃前後に保たれ、子どもから大人まで幅広い世代がゆったりと滞在できる空間となっています。

館内には市内産の木材がふんだんに使用され、木の温もりを感じる開放的な設計が特徴です。お食事処も併設されており、食を楽しみながらくつろげる新たな憩いの場として注目を集めています。



みどモス



▲おもてなしが繋ぐ文化と笑顔 (呈茶)

も行われました。また、同日の2階ロビーではサッカーW杯の観戦会が行われ、館内は文化芸術とスポーツの熱気に包まれました。ぐんま未来大学ホールP A L (笠懸野文化ホール)ではステージ発表が行われ、15団体123人が舞台で日頃の成果を披露しました。最後は恒例の抽選会。3日間延べ約千人が来場し、地域の活気を感じさせる盛大なイベントとなりました。

公民館も会場に 地域の輪広がる

梅雨の最中の7月4日(土)、「第4回ふくしまルシェinつばさ」が開催されました。当日は雨が心配されましたが、天候が大きく崩れることはなく、無事に開催の運びとなりました。

今年は、第1会場のみどり市障害者福祉センターに加え、笠懸公民館の1階ロビーとギャラリーが第2会場に。どちらも多くの人が来場しました。

親子で楽しむ

おはなし会

読み聞かせグループ「あしの会」(藤生美代子代表)は、7月4日(土)に笠懸図書館で「たなばたおはなし会」を行いました。約30人の家族連れが参加し、和やかな楽しいひと時を過ごしました。

絵本「ゴリラのはなく

店や販売コーナーは大賑わい。カレーや焼きそば、か



▲人気のカレーを笑顔で販売

き氷、採れたての野菜などの店が並び、来場者は憩いのひとときを過ごしました。

会場では作品展示のほか、ボッチャ体験や煙体験デント、各種ワークショップも。「缶バッジ作り」は親子連れに人気で、自分の作品を手にした子どもたちは、嬉しそうでした。

運営スタッフと来場者の垣根を越えた、あたたかな交流が会場のあちこちで見られました。2つの会場を結び、地域に笑顔の花が咲く1日でした。

そ「しろくまのパンツ」

やパネルシアター「ももた

ろう」、手品などを披露。

子どもたちの元気な返事や歓声が会場に響いていました。

最後はみどモスと一緒に写真撮影。お土産に紙飛行機をもらい、子どもたちはとても喜んでいました。



▲おはなしの中へ・・・

いっしょに考えませんか？公民館のこと。 みどり市公民館大会 実行委員募集！

地域の仲間が「つどい」、ともに「まなび」、人と人を「むすぶ」公民館。これからの公民館活動をより豊かにするには？



対象：公民館活動に関心があり、企画会議(主に夜)と大会(3月頃)に参加できる方

内容：公民館大会の企画や当日の大会運営

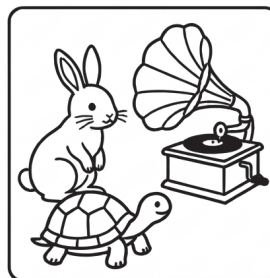
締切：8月30日(日)まで(締切後も随時募集)

申込・問合せ

笠懸(76-2211) 大間々(76-2310) 東(97-2721)
kouminkan@city.midori.gunma.jp ☒

♪ 童謡のふるさと ♪ 石原和三郎の世界

～「うさぎとかめ」の作者ってどんな人？～



場所：笠懸公民館
ふるさとギャラリー
(みどり市笠懸町阿左美1581-1)

内容：花輪出身の童謡作家、石原和三郎の生涯を紹介するパネル展示

◆ミニ講演：8/23(日)
14時～14時30分

◆童謡実演：8/11(祝)・22(土)
15時30分～

対象：どなたでも(申込不要)

♪ ♪ ♪
日時：8月6日(木)～
8月30日(日)

問合せ 笠懸公民館
☎ 0277-76-2211

ビバ フラダンス

梅雨入りが発表された6月7日(日)の午後、笠懸公民



▲優雅なフラで観客を魅了

館の交流ホールで、フラダンスによる「ふれあいコンサート」が開かれました。出演したのはマカラプアとカプアフラの2団体です。たおやかで華麗な舞は、観客を美の世界に誘うようです。

日本の曲を交えながら全11曲の発表でした。曲ごとに衣装を変えて楽しそうに踊る姿は、曲の持つイメージを鮮やかに醸し出していました。梅雨空を覆い隠すような、爽やかなひと時となりました。

豊作を願い 夏を味わう



岩宿の里米つくクラブは7月4日(土)、岩宿の里ふれあい学習館でかし作りを行いました。

参加者は5班に分かれ、毎年恒例の衣装選り。藁で胴体を作った選んだ衣装を着せ、顔を描いたあとに名前を付けます。かしを作り終えたら班ごとに発表の

時間。中には「お米を守ってくれますように」と願いが込められた名前も。みんなのお米を守ってくれる頼もしい仲間が出来ました。

古代米の田んぼに設置した後には、お待ちかねの昼食タイム。今回は竹を使った流しそうめんと一緒に採れたて



▲流しそうめん、舌鼓

の野菜の天ぷらも味わい、子どもも大人も笑顔あふれる、夏ならではのひとときを過ごしました。

一緒にかさかけ公民館だより を作りませんか？



編集協力員 募集中!!

問合せ：笠懸公民館 ☎ 76-2211

防災を考える

⑥7

熱中症から命を守る

近年、夏季の豪雨や台風等による大規模な風水害が各地で発生しています。停電下では、空調が使用できず熱中症のリスクが急増します。避難所生活や在宅避難など、慣れない環境下では、住民同士で声を掛け合い、十分に注意することが重要です。

熱中症は死に至る危険がある一方、適切な予防で防ぐことができます。日常生活でも警戒は不可欠で、熱中症による搬送者の発生場所は「住居」が最多の約4割を占めます。室内でも無理をせず、冷房の適切な使用や、公共施設等の「クールシェアスポット」の活用を検討してください。「自分は大丈夫」を捨て、こまめな水分補給と室温管理を徹底しましょう。

第39回 笠懸地域こどもまつり

8/29(土) 10:00-12:00 @笠懸公民館



模擬店

焼きそば・かき氷・飲み物

楽しいイベントいっぱい

バルーンアート・ビーズブレスレット

お手玉とばし・プラバン作り

ストラックアウト・輪投げ

おもちゃの病院・囲碁将棋体験

防災グッズ作り

雨天決行
※荒天時は中止
※中止の場合、
8/29(土)7:30 までに
公民館 Instagram に UP

主催：笠懸公民館 / 主管：笠懸地域こどもまつり実行委員会 / TEL 0277-76-2211



地域をきれいに 心ひとつに環境美化

みどり市勤労者協議会（伊藤正雄会長）による「環境美化活動」が7月5日（日）、大間々町第13区公民館周辺で実施されました。この活動は、地域貢献の一環として年2回行われている恒例の清掃ボランティアです。長年継続されているこの取り組みは、会員同



▲清掃を終え、充実した表情の参加者

士の交流を深める大切な機会にもなっています。当日は梅雨らしい曇り空でしたが、会員約20人が集まりました。参加者は、公民館周辺の道路沿いや植え込みに落ちているゴミを一つひとつ丁寧に拾い集め、地域の環境美化に汗を流しました。活動を通じ、地域への感謝と美化の意識を新たにする一日となりました。

コラム「豆電球」



『満月には大事故が起こりやすい?』

月が人を狂わせるという意味の「ルナティック」という言葉をご存じだろうか。ラテン語で月を意味するルナに由来していて、中世ヨーロッパでは、月の満ち欠けが人間の精神状態に影響を与えると信じられていたため、この言葉が生まれたようだ。昔から東洋や西洋でも「満月の夜は変事

が起こりやすい」とされてきた。

実際、大惨事となった御巣鷹山の日航機墜落事故や阪神淡路大震災も満月の日に起こっている。

福岡県警の交通課では満月と交通事故の関係を分析し、交通事故予防カレンダーまで作成している。それによると、満月と仏滅がぶつかる日は重大事故が発生しやすいのだとか。

仏滅はともかく、満月の日には、月の引力が強まり、それが原因で地震が発生したり、人間の細胞が活性化

して、事故が発生しやすいのだともいわれている。因果関係はともかく、満月の日に事故が多いのは事実。車の運転は、より慎重にしたいものだ。しかしながら、月光浴なんていうのもあるようで、浄化やリラクゼーション、直感力を高めるなどさまざまな効果が期待できるともいわれているようだ。実際のところどうなのだろうか。



参加してみませんか!? 笠懸地域文化協会 初心者教室

笠懸地域文化協会では、地域文化の一環として、令和8年度も「初心者教室」を企画しました。当会所属の専門講師が親切丁寧に初歩から指導します。

多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

楽しく！仲間づくりしながら、文化活動に挑戦してみませんか？

親子茶の湯教室（全3回）

親子で気軽にお茶会に参加しませんか？楽しいですよ!!

- ◇期 日 10/10(土)・17(土)・31(土)
- ◇時 間 午後1時～午後3時30分
- ◇会 場 笠懸公民館 和室3
- ◇参加費 親子で各回千円（お茶代、菓子代、懐紙代）
- ◇定 員 幼児・小中学生（5～15歳）の親子3組（6人）
- ◇持参する物 白いソックス、お茶道具（扇子・袱紗・楊枝）
（※持っていない人には貸し出します）



写真教室（全4回）

デジタル一眼レフカメラで素敵な写真を撮ってみませんか！

- ◇期 日 9/15(火)・29(火)、10/6(火)・13(火)
- ◇時 間 午後7時30分～午後9時
- ◇会 場 笠懸公民館 サークル活動室2
- ◇参加費 1,000円（テキスト代）
- ◇定 員 先着15人
- ◇持参する物 初回なし。2回目以降は初回で説明されたもの。



フラダンス教室（全6回）

年配者・社会人・キッズ、名曲に乗って、笑顔で楽しくフラ踊りませんか。

- ◇期 日 9/5(土)・12(土)・19(土)・26(土)、10/10(土)・17(土)
- ◇時 間 午前10時～正午
- ◇会 場 笠懸公民館 音楽室1
- ◇参加費 無料
- ◇定 員 先着15人
- ◇持参する物 ハーフスカート・フラシューズ
※普通のスカート・上履きも可



対 象 みどり市在住・在勤者

申込期日 令和8年8月20日(木)

※定員になり次第締め切り

申込・問合せ先 みどり市笠懸公民館 TEL0277(76)2211

午前9時～午後5時（月曜日除く）



こえの ひろば

赤岩渡船と

荻野吟子記念館

歩遊人

大間々公民館主催による市民講座、船と歩きで史跡を訪ねる「赤岩渡船と荻野吟子」に参加しました。6月13日(出)、一行約30人は大間々庁舎からバスで一路千代田町の赤岩渡船場へ。

赤岩の渡しは県道83号線



▲「県道」をゆく船の旅、赤岩の渡しを体験

吟子さんは1851(嘉永4)年現在の熊谷市依瀬で誕生。18歳で結婚し、夫から病気をうつされ2年後に協議離婚。治療にあたって当時はまだ医師は男性のみで、恥ずかしい思いをしたのが医師を志すきっかけとなり、現在のお茶の水女子大で勉

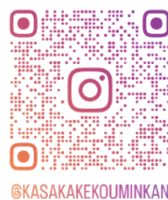
た。荻野吟子さんは日本の公許女医第1号で、記念館では紙芝居による吟子さんの伝記や生涯にわたる活動等の資料が展示されています。

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

で千代田町が管理しています。対岸の埼玉県の熊谷市葛和田を結び、心地よい利根川の川風を受けながら、8分で着きました。船着き場から約1kmを歩くと荻野吟子記念館です。

笠懸公民館SNS紹介

Instagram



@KASAKAKEKOUJINKAN

YouTube



学に励み卒業しました。そして内務省の衛生局長に医術開業試験の女性受験許可を陳情。それが叶い、前期・後期試験ともただ一人合格し、日本で初の公許女医となりました。この時35歳、その後日本各地で医療に当たり、その活動は目覚ましいものでしたが1913(大正2)年、病気のため63歳で死去されました。女性の社会参画に尽力された功績は計り知れないものがありますね。実りある講座でした。

上毛かるた

御朱印レディー

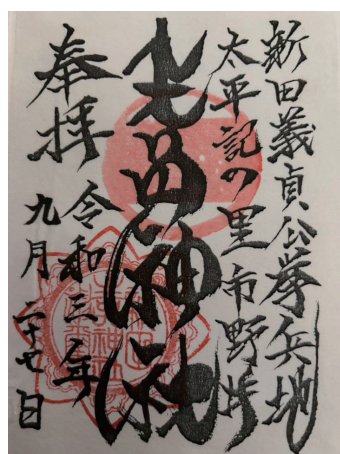
歴史に名高い

新田義貞

新田義貞は、1301(正安3)年に現在の太田市で生まれました。武将の中でも正義と誠の心を貫いた人物として、今も全国的に高い人気を誇ります。

1333(元弘3)年、後醍醐天皇の呼びかけに応じた義貞は、生品神社に一族を集めて鎌倉幕府打倒の旗を掲げました。その後、各地での戦いを経て、1338(延元3)年に越前国藤島(現在の福井県)で戦死を遂げました。

上毛かるたの「れ」の札は、日本の歴史に大きな足



▲生品神社の御朱印

なみ、生品小学校の6年生が地域の健康や平和を願って、矢を高く放ちます。郷土の誇りを今に伝える、歴史的に非常に重要な場所となっています。

跡を残した武士を一人でも採用したいという編纂者の強い思いにより、当時難色を示していたGHQ(連合国軍総司令部)を粘り強く説得して実現したものです。挙兵の地として知られる生品神社は、国の史跡に指定されています。軍記物語『太平記』にも登場する境内には、義貞ゆかりの「旗揚塚」や、軍勢が陣を敷いた「床机塚」、そして軍旗を掲げたと伝わる「生品神社の古木(太田市指定重要文化財・歴史資料)」などが今も大切に残されています。

この歴史を継承するため、毎年挙兵の日にあたる5月8日には「鎬矢祭」が開催されています。義貞が鎌倉方面へ矢を放った故事にちなみ、生品小学校

かさかけ

どうぶつ家族③

希望くん(2区)

「希望」とかいて「りく」と読みます。希望くんはお家で初めてのワンコです。

2年前にお父さんが一目ぼれしてお迎えしましたが、子どもたちにとってそれがどれほどうれしかったことが、兄妹二人は小さな新しい家族のために一生懸命に名前を考えました。いろいろ調べて辿りついたその名前には、子どもたちの大切な思いが込められています。希望くん、とてもきれいな犬、家の中はもちろん、家の庭でも一切トイ

レをしません。

特にしつめたわけではなく、家に来て自然にそうなったそう、そんな希望くんが膀胱炎にならないよう家族は毎日交代で3回散歩します。昼と夜はお母さんとお父さん、朝は子どもたちが学校へ行く前に散歩に連れていきます。

朝の散歩の後、希望くんにはもう一つ欠かせない日課があります。それは学校へ出かける子どもたちのお見送りです。

これもそうしつめたわけではなく、毎日欠かさず、玄関にちょこんと座って、二人が見えなくなるまで、じっと見送るそうです。その後ろ姿がとても愛らしい希望くんです。



▲希望くん

あなたも家族(ペット)を紹介しませんか!?

募集対象 犬・猫・小動物など、どんな種類の動物でも OK※品種や飼い主名等は掲載しません。

【留意点】

- ・編集協力員による対面取材後に、紙面へ掲載します。
- ・次号以降のお友達の家族(ペット)の紹介にご協力ください。
- ・在住区域(行政区等)を掲載させていただきます。

【応募方法】

飼い主の氏名・連絡先・家族(ペット)の情報を電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。

☎ 0277 (76) 2211

✉ kourinkan@city.midori.gunma.jp



QRコード

笠懸短歌サークル

六月例会より

一年間使はぬ物は不用品息子に背押され終活をする

実家から朝採りの野菜届きたり初物食し元気をもらふ

庭隅に生ふるやさしき露草に過ぎにし刻をあはれと偲ぶ

遅れ花もなほ懸命にかがやけり花しやうぶ園に眩し木漏れ日

突然に電源切れてしまひたり急ぎのパソコン操作途中に



上村 征子

加藤 康子

久保田茂子

関口 定夫

平山 勇

ちょっと一息



2026年も早いもので半分が過ぎ、本格的な夏を迎えました。連日の蒸し暑さで冷房が欠かせない季節ですが、「冷房病(クーラー病)」という言葉をご存じでしょうか。

冷房病とは、冷えた室内と暑い屋外との温度差などによって自律神経のバランスが乱れ、だるさや頭痛、肩こり、食欲不振

振などの症状が現れる状態です。予防するには、冷房の設定温度を下げすぎないことや、直接エアコンの風に当たらないようにすることが大切です。また、水分補給や軽いストレッチで血行を促すことも効果的だそうです。

冷房が欠かせない夏だからこそ、暑さ対策をしながら冷房と上手に付き合おう。元気に過ごしていきましょう。

(笠懸さん太郎)